



# グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	7
実施形態	オンライン
担当教員	建築学科 志手 一哉先生
実施期間	2021年10月9日～10月16日
実施協定校	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（マレーシア）

# 参加学生体験談（要旨）

建築学科

4年生

オンラインという意思疎通が難しい中で建築生産に関する議論をすることの難しさを、このワークショップを通じて実感しました。

普段の日常会話と違い、専門的な用語が多く、より多くの語彙力や表現力が必要と感じました。しかし、ジェスチャーや遠回しな表現でもマレーシアの学生は親身になって聞いてくれたので、最終的には楽しくてやりがいのあるワークショップだったと思います！

建築学科

4年生

オンラインでの開催で最初は不安がありましたが、参加してみると思っていたよりスムーズでした。

お互い最初は緊張していましたが、最後は打ち解けることが出来ました。建築工法についても勉強になり、とてもいい経験でした。

# 参加学生体験談（要旨）

建築学専攻

1年生

私はサポート役としてこのプロジェクトに参加しました。グループのメンバーが言葉の問題を抱えているときに、通訳として手助けをしました。

プロジェクトの内容は、PPVCについて学び、グループでPPVCの外観から構造までのモデルを設計し作りあげる必要があります。日本の学生達とマレーシアの学生達は、最初はコミュニケーションをとることに苦戦していましたが、プロジェクトが進むにつれて、活発にコミュニケーションを取れるようになっていました。

最後、プロジェクトが完了したとき、私達は成功と失敗の中から大切な経験を得ることが出来たと思います。

建築学科

4年生

英語での会話スキルやリスニングスキルの向上につながるとても良いプログラムでした。